



稲穂いなほ

仙南小学校
H30. 9. 19

No. 23



敬老の日に思う

先週金曜日、ロートピア仙南の「敬老会」に行ってきました。在所者の平均年齢が88.6歳で県内最高齢者(105歳11ヶ月)の方もおられると知って驚いてしまいました。歌あり踊りありの楽しい一時でした。

さて敬老の日は、昭和22年(戦後の混乱期に当たり、子どもを戦場に送った親たちの多くは精神的に疲労の極みにあった)、兵庫県野間谷村の門脇村長が「老人を大切にし、年寄りの知恵を借りて村づくりをしよう」という趣旨から9月15日(農閑期に当たり季候もよい9月中旬ということで決められた)に開いたものだそうです。

夏休み明け集会で触れた内容も含まれていますが、以下の内容を思い起こしましたので記載します。

No. 80

お年寄りの話を聞く

——「今、ここにいること」の奇跡に気づく——

ご先祖がひとり欠ければ自分は存在しない

かつての日本は大家族でした。おじいさん、おばあさんがいて、両親がいて、そして子どもたちがいる。3世代、4世代が共に生活することで歴史が受け継がれていたのです。

たとえば80歳のおじいさんが、自分の祖父の話を5歳の孫に聞かせるとします。そうすると孫にとっては、200年も前の話を聞くことになる。「そうか、自分のご先祖にはそういう人がいたんだ」と思う。これこそが歴史を紡ぐということなのです。

ご先祖がいてくれたからこそ、今の自分が存在できている。自分の代から10代遡れば、1024人の先祖がいると言います。20代遡れば100万人の先祖がいる。30代遡ればその数は10億を越える。そのなかで誰かひとりが欠けたら、自分は生まれてこなかったのです。

そう考えたときに、ご先祖に対する感謝の念が湧いてくるはず。ここに自分が存在していることは、まさに奇跡みたいなもの。その奇跡に気づいたとき、私たちは命の尊さが身にしみて分かるのです。

「禅、シンプル生活のすすめ」(著: 枅野俊明)より



マラソン練習に汗!!

学習発表会後の先週初めから来月3日のマラソン大会に向けての練習が各学年・学級で行われています。今週・来週とも天気のいい日が続きそうですので、当日は自己ベストを出せるように、しっかりと練習に取り組んでほしいものです。ご家庭でも練習の様子などを聞いて励ましてあげてください。

秋の全国交通安全運動

明後日から30日までの10日間が運動期間となります。この時期の下校は薄暮と農繁期が重なり事故やケガがいつも以上に心配されますので、声かけをお願いします。また、朝は特に冷え込む場合が多いので、防寒対策の配慮をお願いします。

